

小崎 太陽（こざき たいよう）
平成16年度3次隊 養護 ジャマイカ

プロフィール

甲賀市（旧・甲賀郡）出身。滋賀大学教育学部を卒業後、大津市にある『社会福祉法人しが夢翔会（知的障害者の生活施設ステップ広場ガル）』に就職。協力隊には、同法人に籍をおいたまま、すなわち、2年強の休職をしての参加。

ジャマイカの気候風土や文化の紹介

ジャマイカは、カリブ海に浮かぶ常夏の小さな島。（面積は、秋田県と同程度）。日本人にしてみれば、『初夏 真夏 残暑 初夏・・・』といった季節の変化でしょうか。ただし、ジャマイカの人々にしてみれば、それが大きな気候の変化でもあるようで、11～2月頃には、セーターにニット帽姿で登校してくる子どももいます。

文化としては、日本でもよく知られている、レゲエ＝ミュージック・ブルーマウンテンコーヒー・リゾート観光などが有名です。

活動や生活について

生活

この文書を書いている時点（2006年11月30日）で、ジャマイカに着任以来1年8ヶ月近くが過ぎたこととなります。そこで、生活面については、昨年書かせていただいたような少々一般的なことなく、今回は、あえて、しばらくジャマイカに住んだことではっきり見えてきた「生のジャマイカ」に特化して、数点述べてみます。

『コーヒーは、日本人と飲め！』

日本では高級品のブルーマウンテンコーヒー。ジャマイカでは、安くでおいしく飲めます。が・・・、

・日本人の一般的な飲み方

濃いめのブラックでホッと一息・・・。

・ジャマイカ人の一般的な飲み方

薄めのコーヒーに、信じがたい量のコンデンスミルク。コーヒーが、なにやらドロドロしています。というか・・・、そもそもジャマイカ人には、コーヒーより紅茶の方が人気であることが多いのです。

『ものすごく危険で、ものすごく安全。』

ジャマイカは治安の悪い国で、現地JICA事務所より、隊員の立ち入りすら原則禁止されている地域もあります。TVでは、時折「軍がロケットランチャーを使ってギャング同士の銃撃戦を制圧。」などという、日本人にはまるで映画のようなことが流れるほどです。また、隊員立入禁止区域でなくとも、東洋人差別的発言・拒否すると罵声を

浴びせてくる殺気だった目の物乞いなど、多くの問題が絡んでのことと頭で分かっている自分にとってストレスになる問題があります。もちろん、私の任地内にも危険な地域はあります。

しかし、実際に、その任地内の危険区域に自転車修理のために行ってみると・・・、『偶然そこを通りがかった活動先の校長先生が、私が危険区域に連れ込まれたと思い、「うちの日本人ボランティアに何する気や！！」と叫んでくださった』り、『修理屋のおじさんが、「なんや、オマエ、ウチの近所の子が行ってる学校の先生かっ！ オマエのこと知ってるぞ！』と言って、サービスで修理してくれた』り・・・。

もちろん、治安の悪い地域であることに変わりないため、一瞬の油断も禁物ですが、人と人とのつながりが日本より強いジャマイカだからこそ・実際に一定期間住んだからこそその安全も感じる今日この頃です。

『何を言ってるか、まっったく分からない・・・』

ジャマイカ(公用語・英語)にて・・・、「ウィア ウヌ ニヤム?(レストランにて)」。何を言わんとしているかお分かりでしょうか？

ジャマイカの公用語は英語ですが、一般的には、英語と現ジャマイカ人の祖先である西アフリカの言葉などを起源とするジャマイカ英語・パトワ語が話されます。さらには、私の任地は地方の田舎であるため、その傾向はより顕著です。

そんなわけで、任地に来た頃は、相手の言っていることが全く理解できないことが頻繁にありました。また、パトワ語の一部は英語の誤用をその起源としていることから、未だに、パトワ語を使うにも英語を使うにも頭が混乱することがよくあります。(英語は、協力隊参加前よりも下手になったような・・・(笑))

ちなみに、前述の「」の答え。これはパトワ語の音声で、英語に直すと、「What do you eat? (何を食べますか?)」となります。

活動

配属先は、ジャマイカ最大の知的障害児者支援機関(教師200人強。生徒1500人程度。)で、通常は配属先傘下の一養護学校で活動しています。

この1年半余りで、個人では、活動先での体育の授業、ジャマイカ初の知的障害児向け体育教育の指導書的な冊子作り、を、同配属先の隊員とのチーム活動においては、2ヶ月に1度のニュースレター作成、日本では一般的だがジャマイカではほとんど知られていない『公開研究授業』の普及や実施、障害児者向け乗馬セラピーの立ち上げ・実施等、を基にしたワークショップシリーズの開催、などを行ってきました(行っています)。

自分もまだまだ力不足ということもあり、異文化・ジャマイカで仕事(ボランティア)をすることの難しさを感じ続ける日々です。また、客観的に考えて、日本にいるよりも辛いことも多いのが現実です。しかし、同時に、幸運にも、自分の専門性を生かし多少の評価を得ることのできる現在の環境におり、それを楽しんでもいます。残り4ヶ月強、仕上げの段階。ポチポチ楽しくがんばります。



活動先の養護学校にて、子ども達と。恥ずかしくてとにかく写ろうとしないしない大人が多い中、逆に子どもは写真が好きで、「撮ってー！！」と言ってくる子どもが多数です。



ジャマイカの特殊教育分野に派遣されている隊員数名によるニュースレターの表紙の一枚。ニュースレターは、昨年より2ヶ月に1度発行されています。



障害児体育に関するワークショップでの一場面。活動期間中、同配属先の隊員と協力して、10回程度のワークショップをジャマイカ国内2カ所・計15名程度の教師に対して行います。



私の髪型 in ジャマイカ。ジャマイカらしい頭がチラホラ・・・。(アフロ・編み込み・ラスト帽)。また、髪質の違いなどからジャマイカ人理美容士に日本人の散髪は難しいようで、それ以外の髪型も、自分で切ったり隊員同士で切ったり。